

※本リリースは、日本でのみ配布しております。

News Release



Prudential Financial, Inc.
751 Broad Street
Newark, NJ 07102-3777
www.prudential.com

2022年9月22日

プルデンシャル・ファイナンシャル・インク

日本における保険事業最高経営責任者の交代について

〔東京発〕プルデンシャル・ファイナンシャル・インク(本社: 米国ニュージャージー州ニューアーク、会長兼最高経営責任者: チャールズ F. ラウリー)は本日、シニア・バイス・プレジデント兼プルデンシャルの日本における保険事業の最高経営責任者である倉重光雄が、2022年12月31日付で退任することを発表しました。後任として、プルデンシャル・ファイナンシャルの日本における保険子会社のひとつであるプルデンシャル生命保険株式会社の代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)の濱田元房が、プルデンシャルの日本における保険事業の最高経営責任者に就任します。

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼ヘッド・オブ・インターナショナルビジネスのスコット・スライスターは次のように述べています。「倉重氏の日本保険事業および PII への 31 年にもわたる多大な貢献に深く感謝します。彼の強力なリーダーシップのもとで日本事業は顧客数を増加させるだけでなく、急激な人口動態の変化に直面しながらも市場シェアの拡大を遂げ、日本の業界トップレベルの生命保険会社にまで成長しました」、「11 年にわたって日本保険事業の最高経営責任者としての役割を通じて、さらなる成長と安定を実現するためのリーダーシップチームを構築しました」

濱田元房は、1992年にプルデンシャル生命保険株式会社に入社し、東京の本社機能を統括する様々な要職を歴任しました。その後、2004年7月に執行役員、2007年4月に執行役員常務、2011年4月に執行役員専務に就任し、2018年4月に同社の代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)に任命されました。スライスターは、「濱田氏は業界に精通しており、その豊富な経験と知識で今後30年、そしてその先のプルデンシャルの持続的な成長の土台作りを促進していくと確信しています」と述べています。

以上

※本リリースは、日本でのみ配布しております。

プルデンシャル・ファイナンシャル・インクについて

プルデンシャル・ファイナンシャル・インク([NYSE:PRU](https://www.nyse.com/quote/NYSE:PRU)) (総預かり運用資産約 1 兆 4,000 億ドル/2022 年 6 月 30 日現在)は、金融業界をリードするグローバル企業かつトップクラスの投資運用会社として、米国、アジア、ヨーロッパ、ラテン・アメリカの拠点で活動しています。プルデンシャルの多様かつ多才な社員は、投資、保険、および退職後の保障を幅広いお客さまに提供し、より多くの人に経済的な機会を創出することで、人々の人生をよりよいものにするお手伝いをしています。米国において、プルデンシャルを象徴する「ロック」ロゴは、一世紀以上に渡って強さ、安定、ノウハウ、そしてイノベーションを表してきました。更に詳しい情報は、news.prudential.comをご覧ください。

